

令和4年

第7回仙北市議会臨時会

市 政 報 告

仙 北 市

## 令和4年第7回仙北市議会臨時会 市政報告

令和4年第7回仙北市議会臨時会の開会にあたり、主要事項についてご報告します。

はじめに、新型コロナウイルス感染状況について報告します。9月1日から26日までの仙北市の平均感染者数は、27.1人と8月と横ばいで、全数把握が終了した9月27日以降の推計値は、一日平均20人前後で、感染が収まらない状況で、市内においてもクラスターの発生が確認されています。

10月11日、角館総合病院で院内クラスターが発生しました。その後の感染状況等から10月24日にクラスターの収束を確認し、10月25日から、通常の診療業務を再開しています。この間、病院を利用される皆様には、大変ご迷惑とご心配をおかけしました。今後は一層感染対策の徹底を図り、安心して病院をご利用いただけるよう、再発防止に努めていきます。

市民の皆様には、気を緩めることなく、これまで以上に警戒感を強め、基本的な感染対策の徹底をお願いします。

次に、新型コロナウイルスのワクチン接種についてです。10月20日から3回目以降のワクチン接種間隔が、5か月から3か月に短縮されました。期間短縮に伴い、対象となる市民の皆様には接種券を送付しています。11月下旬から12月にかけて接種のピークを迎えるため、11月から接種時間を延長して対応します。

また、接種対象年齢が生後6か月まで引き下げられたことに伴い、仙北市では4歳以下の乳幼児接種を大曲仙北医師会の小児科医にお願いし、大仙市、美郷町とともに、大仙市健康福祉会館で11月19日から令和5年2月にかけて行うことにしています。

新型コロナウイルス感染症については、これから第8波到来が懸念され、市民の皆様へのワクチン接種の機会確保に万全を期します。

次に、仙北市の人口動態について報告します。9月30日現在、2万4,285人、前年同月比583人減という状況です。世帯数も1万450世帯、前年同月比72世帯減という状況です。出生数も、本年度で36人と極めて厳しい状況です。今後、子育て及び若者関連施策に注力を進めていきます。

次に、一般会計補正予算(第8号)についてです。

第8号の補正額は3億2,963万3千円の追加で、補正後の額は217億6,448万円です。主な事業は、仙北市生活応援商品券事業費、通知カード・個人番号カード関連事務費、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付事業費などです。

次に、行財政改革の進捗についてです。一般財源を主とした107の事務事業について、二次評価が終了しました。評価結果は本日、タブレットに掲載していますが、内訳は拡充が10件、継続31件、条件付き継続45件、縮小11件、段階的廃止3件、廃止が7件です。効果を令和4年度当初予算の金額ベースで試算すると、段階的廃止とした予算額は2,863万6千円、廃止とした予算額は9,284万7千円となります。

また、幸福度に関して先般行った市民意識調査では、やはり、若者を中心として、幸福度の数値は、もう一歩という状況でした。この点も踏まえ、各課においてこの結果を令和5年度予算に確実に反映させるよう予算編成を進めています。

また、施策そのものの見直しに係る施策評価について、一次評価を終え、二次評価を進めています。こちらにつきましても評価が取りまとめ次第、皆様にお示ししたいと考えています。

それでは、各部局等の主要事項及び諸般の状況を報告します。

## 【総務部】

### ◇危険業務従事者叙勲の受章について

10月8日、第39回危険業務従事者叙勲の発表がありました。仙北市では、元大曲仙北広域市町村圏組合消防監の齋藤榮二さいとうえいじさんが消防功勞で瑞宝双光章ずいほうそうこうしょうを受章されました。

この度の受章は、永年にわたる職務の精励や功績、功勞が認められたものです。市民の皆さんと共にご労苦に感謝し、心からお祝いを申し上げます。

#### ◇地方創生★政策アイデアコンテスト 2022 への応募について

4月から市役所職員の政策立案力の向上へ向けて、様々な研修プログラムを進めてきました。この中で、若手職員を中心として地域政策スクールを開催しています。

成果の腕試しとして、内閣府が主催する地方創生★政策アイデアコンテスト2022へ応募しました。先般連絡があり、第一次審査は通過したという一報を頂いています。12月に都内で最終審査会開催が予定されています。今後も、積極的に人材育成を進めていきます。

#### ◇濱田謹吾銅像建立35周年記念式典について

10月23日、戊申戦争において角館の歴史的町並みを救い、異境の地に散った大村藩少年鼓手こしゅ、濱田謹吾少年はまだきんごの銅像建立35周年記念式典及び祝賀会が、戊申会ぼしんかいの主催により盛大に開催されました。

園田裕史そのだひろし大村市長、村崎浩史むらさきひろし大村市議会議長、大村市吾往会ごおうかいなど総勢46人が遠路来訪され、仙北市関係者ととともに濱田少年、大村藩士への追悼と感謝の念を新たにしたところです。

濱田少年の縁により締結した姉妹都市交流は、令和6年度に締結45周年を迎えます。このご縁を大切に、この交流が両市にとって実りあるものにしていきます。

#### ◇常陸太田市、秋田市との三市連携交流について

10月29日、秋田市を会場に、常陸から秋田へ国替えとなった佐竹氏を縁とした、茨城県常陸太田市、秋田市、仙北市の三市連携交流

提携15周年記念式典が開催されました。

式典には100人を超える関係者が参加し、三市連携のさらなる飛躍を期したほか、ゆるキャラのステージ、三市の物産展や伝統芸能の披露が盛大に行われました。次回、20周年記念式典は仙北市が主会場となります。ご縁を大切に、交流を続けていきます。

#### ◇秋田内陸線に関する市民意識調査の実施について

沿線二市、県による赤字支援が常態化している秋田内陸線について、市民の利用実態や今後の支援のあり方を問う意識調査を実施します。

対象は無作為抽出した15歳以上の市民1,500人とし、11月初旬に送付、中旬に回収を予定しています。調査結果は、12月定例会会期中に皆様にお示しし、今後の方向性についてご意見をいただきたいと考えています。

#### ◇山岳遭難事故について

10月7日、駒ヶ岳の阿弥陀池<sup>あみだいけ</sup>から約150メートル南西の地点で、兵庫県淡路市の男性が倒れているのを、別の登山者が発見し通報しました。通報後、県防災ヘリで救助されたものの、死亡が確認されました。男性が発見された現場付近の登山道には20メートルほど滑落した痕跡がありました。謹んでご冥福をお祈りします。

10月14日、抱返り溪谷近くの山林で大仙市の男性2人が道に迷ったと家族から警察へ通報がありました。通報を受け、捜索しましたが発見に至りませんでした。15日、朝から捜索を開始し、防災ヘリで発見、2人とも大きなけがなく救助されました。

10月16日、駒ヶ岳八合目から旧乳頭スキー場へ通じる登山道で東京都の女性が道に迷ったと本人から警察へ通報がありました。捜索隊が遭難者を山中で発見し、けがなく捜索隊と一緒に自力下山しました。

秋の紅葉行楽シーズンを迎え、レジャーやきのこ採りの入山が今後

も予想されることから、仙北警察署と合同でチラシ配布などを実施し、遭難事故防止の注意喚起を行います。

#### ◇車両火災について

10月21日、生保内字<sup>ふなばわかい</sup>船場向地内の国道46号で、盛岡市方向から角館方向へ走行中の大型トラックから出火し、全焼しました。運転手にけがはありませんでした。この火災の影響で国道46号が通行止めになったほか、現場付近を通過するJR秋田新幹線も一時運転を見合わせるなどの影響がありました。

### 【市民福祉部】

#### ◇田沢湖地区における特定健診の検査漏れについて

西木地区における後期高齢者健診の検査漏れについて、秋田県総合保健事業団に対し、原因究明と再発防止を強く申し入れましたが、その後、田沢湖地区の特定健診でも同様の事案が発生していたことが判明しました。

10月28日、秋田県総合保健事業団担当者から今回の事案について説明を受けたものの、到底納得のできるものではなく、秋田県総合保健事業団の対応次第ではさらなる措置も検討しなければならないと考えています。

田沢湖、角館地区の健診受診者や西木地区の後期高齢者以外の方々の健診については適正に実施されている旨の報告を受けていたにも関わらず、短期間のうちに同じミスが繰り返されたことは、誠に遺憾であります。

健診事業に対する市民の皆様の信頼を損なうこととなり、改めて心よりお詫び申し上げます。

#### ◇マイナンバーカードの交付状況等について

仙北市のマイナンバーカードの交付率は、10月16日現在、40.47%となっています。8月14日現在の交付率36.62%から3.85ポイン

ト増となりました。

さらなる交付率向上のため、広報での周知や、各団体へのチラシ等による取得協力依頼など、市役所全体で取り組んでいます。郵便局でのマイナンバーカード申請サポートにつきましては、来月からの業務開始の準備が整いました。

また、市役所内に交付申請サポート専用窓口を設置するための予算を本臨時会に提案しています。よろしくご審議のほどお願いいたします。

### ◇「わか杉っ子！育ちと学びのステップアップ事業」仙北市合同研修会について

10月11日、にこにここども園と西明寺小学校を会場に、教育委員会と共催で幼児教育施設と小学校の連携を強化し、相互理解を深めることを目的とした仙北市合同研修会を2年ぶりに開催しました。

当日は、市内各認定こども園、保育園、小学校から63人が参加し、保育参観とグループ討議を行い、研修を深めました。今後も継続的に開催し、幼保小連携強化を図ります。

### 【観光文化スポーツ部】

#### ◇第9回秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン！について

10月16日、第9回秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン！仙北大会が開催されました。令和元年度の鹿角大会を最後に、新型コロナウイルスの感染拡大で2年間中止となっていたため、3年ぶりに本市で開催となりました。

駅伝競技は、角館武家屋敷通りやあきた芸術村などを通る約33キロメートルの特設コースを市町村ごとに小中高校生と一般の男女、40歳以上の壮年の9人がたすきをつなぎ、仙北市選抜チームは総合で13位、市の部で11位の成績を収めました。

### 【農林商工部】

## ◇ハレタス田沢湖の植物工場整備計画について

植物工場整備計画については、令和元年3月頃より整備に向け検討を重ね、途中、新型コロナウイルス感染拡大に伴う市場動向の変化により事業を一時断念しましたが、市場における植物工場の動向や事業実施に向けた新たな事業展開を再度検討してきました。

10月11日、「ハレタス田沢湖」代表取締役 <sup>よしだひろゆき</sup>吉田裕幸氏が来庁し、当初計画でのバイテックベジタブルファクトリーによる全量買取・販売ができなくなったこと、新たな事業展開として当初2トンの生産から約400キログラムと減少させたものの、市場価格の下落、原油価格高騰による輸送費、電気代の高騰により採算性が見込めない状況となり、多方面の多大なご支援、ご指導を賜り整備に向け検討してきましたが、大変遺憾ながら計画を断念せざるを得ない状況となった、との報告を受けました。

今後の市の対応策としては、議会、市民の皆様からご理解をいただきながら、第一に造成地を有効に活用することであり、新たな企業誘致に向け全力で取り組みたいと考えています。

## ◇仙北市民プレミアム商品券事業費補助金について

新型コロナウイルスの影響により低迷に対する消費の喚起や住民生活の支援を行うため発行した「仙北市民プレミアム商品券」は、10月14日時点での商品券換金状況は、換金率75.2%、換金額1億9,450万7千円となっています。

## ◇仙北市原油価格高騰緊急経済対策補助金について

新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少し、原油価格の高騰による経済負担が増加した市内事業者を対象に支給しました「仙北市原油価格高騰緊急経済対策補助金」は、当初の9月30日締切りを2週間延長し、10月14日に交付申請受付を終了しています。申請件数292件、うち交付件数290件、交付決定補助金2,882万1千円となっています。1件あたり平均9万9千円の交付となっていて、市内経済の



下支えとなっています。

以上、主要事項及び諸般の報告を申し上げます。本臨時会に提案している案件は、報告関係2件、予算関係1件の計3件です。

慎重審議の上、ご可決を賜りますようお願い申し上げ、市政報告とします。